

Disease/Insect Control



病虫害の対策

よく観察！大切なお庭を守るために

害虫・病気のタイプはどれ？

病虫害対策には症状の早期発見が大切！日頃からお庭の植物を観察して、適切な処置を行いましょう。

A type

- ・木に虫の幼虫(毛虫、アオムシ等)がいる
- ・葉の裏表に2~3ミリの虫(アブラムシ)がいる
- ・葉の裏に1~2ミリの白い虫(コナジラミ)がいる
- ・葉が巻かれたり縮れたりしている(ハマキムシ等)
- ・葉が真っ黒くススを被ったようになる(スス病)

駆除適用のある
殺虫剤を散布する

B type

- ・幹や枝に白い貝殻状やロウで覆われたような物が付いている(カイガラムシ)
- ・虫が葉を食べた痕がある(ヨトウムシ、てんとう虫、コガネムシ)
- ・幹や枝に異物が付いている

駆除適用のある殺虫剤を散布
+
虫と葉の異物を取り除く

C type

- ・ミノムシ、カミキリムシ、センチュウ類、イガラ、ナメクジなどの不快な害虫がいている
- ・葉が白っぽくなり、葉の裏に小さな赤い虫(ハダニ)がいる

特定害虫用の
専用殺虫剤を散布する

D type

- ・葉に黒や白の斑点や変色、白い粉を撒いたような現象(病変)がみられる
- ・葉や茎に不自然な模様やカビが発生している現象(病変)がみられる

すぐに変病部の切除
+
変病に合わせた殺虫剤を散布

！ 薬剤の散布方法と注意点

- ！ 病虫害が小規模で対処し易い状況ならば、症状に適したエアゾール式やスプレーボトル式の薬剤を散布します。広範囲に発生している場合は希釈用薬剤を薬剤散布用の分切り噴霧器で散布します。
- ！ マスク、耐水性手袋を着用して、薬液の吸引や肌への付着に注意しましょう。作業後は肌に付いた薬剤や手を石鹸でよく洗いましょう。
- ！ 使用説明書の薬剤希釈倍数を守り、作った薬液は残さず使い切りましょう。
- ！ 人が近くにいるときは散布を控え、池やペット、車等にかからない様に注意しましょう。

